

MySQL 5.5.12 リリースノート（日本語翻訳）

機能の追加または変更

- [--auto-generate-sql](#) オプションを指定して [mysqslap](#) を呼び出すと、テストランの最後に、[--create-schema](#) オプションで指定されたスキーマが削除された。この動作はユーザが予期していない可能性があった。[mysqslap](#) はスキーマを削除しなくなり、スキーマの作成と削除の両方を行う新しい [--create-and-drop-schema](#) オプションを使用するようになった (Bug #58090、Bug #11765157)。

修正されたバグ

- **InnoDB ストレージエンジン: レプリケーション:** プライマリキーのない [InnoDB](#) テーブルで、あらかじめ **NULL** を設定したカラムを更新しようとすると、**Can't find record in 'table' on the slave** というメッセージが表示されてレプリケーションが失敗した (Bug #11766865、Bug #60091)。
- **InnoDB ストレージエンジン:** [InnoDB](#) が非常に重い I/O ロードを解釈すると、サーバがハングしている兆候として、15 分間以上サーバが停止する可能性があった。今回の変更で、以前は擬陽性があった [InnoDB](#) スレッドの待機時間を測定するロジックが修正された (Bug #11877216、Bug #11755413、Bug #47183)。
- **InnoDB ストレージエンジン:** [lower_case_table_names=2](#) を設定した状態で、外部キー制約が適用される [InnoDB](#) テーブルへの挿入を行うと、サーバの再起動後に失敗する可能性があった (Bug #11831040、Bug #60196、Bug #60909)。
- Windows で利用可能な DNS サーバがない場合、サーバがクライアント接続を拒否した (Bug #12325375)。
- [mysql_upgrade](#) が、[mysql.user](#) テーブルの [authentication_string](#) カラムを適切にアップグレードしなかった (Bug #11936829)。
- [InnoDB](#) が [zlib](#) 関数を呼び出す際、適切な初期化を行っていなかった (Bug #11849231)。
- [CREATE TABLE](#) での [TABLESPACE](#) テーブルオプションの指定が許可されていたが、このオプションの値が [.frm](#) ファイルに書き込まれなかった (Bug #11769356)。

- レプリケーション: [mysqlbinlog](#) で `--server-id` オプションを使用すると、[mysqlbinlog](#) がログの残りの部分を読み込めないまま、形式記述ログイベントがバイナリログからフィルタされた。現在は、このオプションの値に関係なく、そのようなイベントが必ず読み込まれる。

この問題の修正の一環として、現在は、`--server-id` の値に関係なく、[mysqlbinlog](#) がローテートログイベントも読み込む (Bug #59530、Bug #11766427)。

- ストアードプログラムの変数 [DATETIME](#) と [NOW\(\)](#) を比較すると、[character set connection](#) が `utf8` に設定されている場合、Illegal mix of collations エラーが発生した (Bug #60625、Bug #11926811)。
- 定義に [HAVING](#) 句が含まれているビューから選択すると、以下のエラーで失敗した。
 - 1356: View '...' references invalid table(s) or column(s)
 - or function(s) or definer/invoker of view lack rights to use them

(Bug #60295、Bug #11829681)

- [CREATE TABLE](#) 構文での [STORAGE {DEFAULT|DISK|MEMORY}](#) オプションの指定が許可されているが、この値が `.frm` ファイルに書き込まれなかった。そのため、このテーブルの後続の [CREATE TABLE ... LIKE](#) にこのオプションが含まれなかった。

また、テーブルスペースを持つテーブルの [ALTER TABLE](#) が、誤ってテーブルスペースを破壊した (Bug #60111、Bug #11766883、Bug #34047、Bug #11747789)。

- サーバが [net_buffer_length](#) よりも小さい値を [max_allowed_packet](#) に設定することを許可していたが、[max_allowed_packet](#) は [net_buffer_length](#) 値の上限であるためつじつまが合わなかった。現在は、警告が発せられ、値が未変更のままになる (Bug #59959、Bug #11766769)。
- [item_func_set_user_var](#) オブジェクトの変数を初期化しないと、表明が発生する可能性があった (Bug #59527、Bug #11766424)。
- `--skip-innodb` オプションを指定してサーバを起動すると、[have_innodb](#) システム変数が `DISABLED` ではなく `YES` に初期化された (Bug #59393、Bug #11766306)。

- **Item_func_month::val_str()**で、**NULL** 値チェックが遅すぎることにに対する Valgrind 警告が修正された (Bug #59166、Bug #11766126)。
- **Item::get_date** で、**NULL** 値チェックがないことにに対する Valgrind 警告が修正された (Bug #59164、Bug #11766124)。
- **extract_date_time()**で、文字列終わりチェックがないことにに対する Valgrind 警告が修正された (Bug #59151、Bug #11766112)。
- 文字列コンテキストで、**MIN()**および **MAX()**関数が、**BIGINT UNSIGNED** 引数に符号がないことを考慮していなかった (Bug #59132、Bug #11766094)。
- **Item_func::val_decimal** で、**NULL** 値チェックがないことにに対する Valgrind 警告が修正された (Bug #59125、Bug #11766087)。
- **Item_func_str_to_date::val_str** で、初期化されていない変数に対する Valgrind 警告が修正された (Bug #58154、Bug #11765216)。
- ジオメトリ関数のオーバーフローが原因で、**Item_func_int_val::fix_num_length_and_dec()**で表明が発生する可能性があった (Bug #57900、Bug #11764994)。
- プリペアドステートメントを使用すると、テーブルを閉じた後に、サーバが結果セットメタデータを送信しようとする可能性があった (Bug #56115、Bug #11763413)。
- **lower_case_table_names=2** を設定すると、データベース名で限定されるオブジェクトの解決が失敗する可能性があった (Bug #50924、Bug #11758687)。
- **SHOW EVENTS** が必ずしも正しいデータベースからイベントを表示しなかった (Bug #41907、Bug #11751148)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。